

事前評価点検結果表（内部評価）

事業名		公立大学法人大阪府立大学 国際交流施設整備事業
担当部署		公立大学法人大阪府立大学 国際交流課 (連絡先 072-254-8142)
事業箇所		堺市中区学園町 1 番 1 号 (大阪府立大学中百舌鳥キャンパス内)
事業概要	目的	創基130年記念事業。グローバル社会に対応した人材育成を行うため留学生や海外から招へいする教員の宿舎を整備し、中期計画の留学生300人(平成28年)実現に向けて宿舎を確保すると共に、学内の国際交流イベントの拠点として全学の一層の国際交流を促進する。 管理運営を民間に委託することにより効率的な宿舎運営を実現する
	内容	国際交流会館、留学生寮の一体整備 PFI方式にて実施。民間資金を活用し建設。一時金支払い後、寮の収入で20年割賦にて返済する。 ■建築規模 延床面積：2,479㎡ (宿舎：鉄骨3階2,023㎡、交流：鉄骨平屋456㎡) ■主要施設 宿舎施設：留学生用(10坪)20x4戸)80戸 招聘研究者用(1DK)3戸 合計83戸 交流施設：多目的スペース、サロン、事務室、会議室など
	事業費	■全体事業費： 約8.9億円 (割賦手数料込み) 内訳：調査設計費等 約0.5億円 工事費 約6.6億円 割賦手数料 約1.8億円
	事業費の変動要因	【他事業者との協議状況】 特になし 【今後の事業費変動要因の予測】 実施設計によりコストダウンを図る (契約書に明記)
	維持管理費	■約0.2億円/年 (建築物のライフサイクルコスト(財)建築保全センター発行による)
	関連事業	---
上位計画等の位置づけ		■中期計画では以下のことを目標としている ・「留学生宿舎の確保をはじめとする生活・経済支援の充実を図るなど、留学生を受け入れるための環境を整備する」および ・「海外からの留学生を増やし、海外大学・研究機関との学生交流、学術交流を推進させるために、日本語力を強化し、日本社会についての理解を進めるための科目の提供や、学術交流協定締結促進などによる交換留学生の相互派遣の受け入れの拡大を図る。これらの取り組みを通じて、外国人留学生数300名を目指す」

優先度		<ul style="list-style-type: none"> ■ 本事業は、創基130年記念事業として、本学のグローバル化の進展のために広く寄付を募って行う事業である。ご理解をいただいた方々の寄付を基に学内に国際交流の拠点となる国際交流会館と留学生を対象にした学生寮を整備する事業でありその主旨からして26年度年中の完成が望ましい。社会からの大学に対するグローバル人材育成の要望はますます強くなり、その対応は急務である。また、グローバル化の柱である留学生数の拡大についても、28年度300人が中期計画の目標であり、その受け入れ拡大のための留学生寮の確保が喫緊の課題であり、この機会に本学の国際交流推進のための整備を進める。
事業の進捗予定	事業段階ごとの進捗予定と効果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施設及び設備整備：平成26年7月から平成27年2月 ■ 効果：国際交流会館にて多くの国際交流のイベントが可能となり本学のグローバル化が促進される。また、留学生寮の完成によって、より多くの留学生に低価格の宿舍の提供が可能となりより積極的に留学生獲得が可能となる。また、寮には国際交流を望む日本人学生も入寮させ、留学生との共同生活を通じて国際交流の経験を積ませることができる。
	完成予定年	■平成26年度
事業を巡る社会経済情勢	事業目的に関する諸状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国の施策 国は「留学生30万人計画」を策定し、グローバル戦略展開の一環として、2020年を目処に受け入れる留学生30万人を目指す。また、日本人学生の一層の海外留学を促進し、世界に通用する優秀な人材を育成するため、大学間協定等に基づく日本人学生の海外派遣人数の増を目指している。 ■ 府の施策 大阪府は国際化戦略アクションプログラムをH23年に策定 「大阪から海外への留学生・研修生を3年間で1,000人送り出す」 「大阪で学ぶ外国人留学生を3年間で4,000人呼び込む」 ■ 本学の施策 大学のグローバル化の程度は、その大学の発展力を示すものであり、大学の評価においても大きなウェイトを占める。本学も留学生の受入数について中期計画で28年度300人を目標としている。
	地元等の協力体制	■工事エリアに近接する自治会に対し、施設整備について理解を得ており、さらに工事のお知らせを書面により周知する。

事業効果の分析	費用便益分析	具体的な便益内容	備考
		—	—
	その他の指標(代替指標)	大学構内に利便性のよい宿舍が83室確保され、留学生・海外からの教員/研究生の受け入れ対応力が強化される。(留学整数25年239人→28年300人目標)	

	定性的分析	<p><グローバル化の進展> 国際交流会館建設により、グローバル教育に力を入れる大学の姿勢を内外にアピールしそのイメージの向上を図る。また実際に多くの国際交流のイベントが可能となり本学のグローバル化が促進される。</p> <p><留学生宿舍の確保> 留学生にとって、便利な立地に、比較的安価で、利用者満足度の高い宿泊施設が確保される。また外国人との交流を希望する日本人学生を入居させ国際交流の場を提供することにより、グローバル人材の育成を行う</p>
自然環境等への影響と対策		<p>■自然環境への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設予定地は、大阪府立大学中百舌鳥キャンパス内西門南西の駐車場部分であり、自然環境に与える影響はほとんどない。 <p>■省エネルギー・リサイクルへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設段階においては、省エネルギー・省資源、再資源化、廃棄物の適正処理について配慮する。 維持管理面においては、本学の他の建物の維持管理に準拠しつつ、低環境負荷型の施設が実現できるよう措置する。
代替案との比較検討		<p>■飲食施設を伴う施設の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 留学生の家賃負担軽減、大学法人の支出軽減のため、飲食施設の併設による賃貸収入を確保する事業案についても検討を行ったが、学内及び周辺環境に与える影響を勘案し、本案を採用することとした。
その他特記すべき事項		<p>■本事業は、創基130年記念事業として、国際交流にご理解をいただく学内外の方々に寄付を仰ぎその資金を持って一部事業費に充てるものである。また、民間資金を活用し事業費の残金は20年割賦で返済するが、その大部分は寮の家賃収入で充当するものであり、極力、大学の費用を抑える計画である。(家賃収入見込み 0.27億円/年)</p>

評価結果

「事業実施は妥当」

本事業は、国の「留学生30万人計画」や大阪府の「国際化戦略アクションプログラム」にも合致するものであり、大阪府立大学が進める中期計画「留学生300人計画(1128年)」の基となる留学生宿舍の確保に寄与する。また、この国際交流会館建設によりグローバル化に力を入れる大学の姿勢を内外にアピールすると共に、大学のグローバル化の拠点として様々な国際交流イベントが開催され国際交流の進展が期待されることから「事業実施」とする。